

点描	棕鳩十記念館・記念図書館 栗下修一 (高21回)	表 2
『稲穂』第23号の発刊にあたって		
【エッセイ】	何か得るものがある同窓会をめざす 今村昭文 (高24回 在京飯田同窓会)	4
	競泳リレーで世界一に 池田和美 (高22回)	6
	努力と夢の軌跡 松澤宏尚 (高22回)	10
	老後に始めた楽器演奏 宮下正博 (高23回)	14
	今は縁ある方々とのコミュニケーションでできる時間が楽しみ 篠原雅義 (高24回)	18
	校歌に詠まれる伊那谷の地理 小野岳 (高30回)	22
	驚きの連続だった海外勤務 平岩昌彦 (高30回)	26
	映画『フロンティア』と私 北澤潤 (高36回)	28
	用水路が教えてくれた医療―飯田から過労死予防の研究へ― 吉川徹 (高42回)	32
	私の半生とランニング遍歴 宮本拓磨 (高47回)	36
	飯田から世界へ 片桐さやか (高49回)	40
	文化事業からこども、地域、まちづくりへ 多くのまわり道が生んだ自分のライフワーク 後藤清子 (高49回)	42
【葉の道】	焼物に魅せられて 荒尾一義 (高5回)	46
【プロジェクト】	建築学科で学ぶ私が見つめる面白さの正体。 北城正登 (高76回)	48
	大学での多様な経験を、将来の夢の糧に。 佐藤遼 (高77回)	50
【在校生はいま】	飯田高校…つれづれに 新建夏乃子 (2年B組)	52
【恩師の思い出】	「負けるな植ちや、ここにあり」 植原操先生と過ごしたかけがえのない3年間 新井富生 (高29回)	57
【スポーツ記者対談】	東京からミラノまで五輪を共に取材 折山淑美 (高23回)・木下淳 (高51回)	58
【55歳のつばやき】	高41回生から 我が人生で解釈した「新」キャリア形成論 橋本洋一郎 (高41回)	64
●令和7年度在京飯田高校同窓会定期総会報告	松村尚哉 (高2回 在京飯田同窓会事務局長)	70
	◇講演①イグノーベル賞受賞 吉澤明彦 (高40回)	74
	◇講演②人形劇のまち 飯田の原点にあるもの 北林克己 (高40回)	76
	◇卒業回別記念写真	79
	◇幹事団員末記「気がつけば幹事長」 宮島弘道 (高40回)	82
【母校のいま】	ラグビー班全国大会出場でつながる同窓生の輪 構成・作/栗下修一 (高21回)	84
	◇花園観戦記①同期4人で祝杯・快勝の余韻を楽しむ 吉澤広和 (高22回)	87
	◇花園観戦記②花園出場で3支部合同忘年会を開催 大原直 (高21回)	88
【同窓生セミナー報告】	報告/原直子 (高40回)	90
【今号の表紙作家】	描きたいものを描く―退職後人生 大平秋廣 (高18回)	94
【TOPICS】	小幡千尋君(3年)がインターハイ5000m競歩で優勝	95
【同期会便り】	中47・高1/中48・高2/6/9/10/13/21/22/23/26/40回 令和8年度在京飯田高校同窓会定期総会のお知らせ/卒業回早見表 在京飯田高校同窓会役員 編集後記 同窓生の広告/ご協賛に御礼/無料相談室紹介 ご寄付に御礼/在京飯田高校同窓会情報	96 99 106 107 108 108 109 108 107

表 3

表紙作品 大平秋廣 (高18回)

故郷に伝わる人形劇

・表紙紙：「今田人形三番置」

東京渋谷で観た故郷の人形芝居。

油彩F50号

2022年「第44回新洋画展」

出品：奨励賞受賞。

・裏表紙紙：「出逢待ち」

保骨園児がハロウィンの衣装で出

番を待つ情景。油彩F20号

2024年「第44回瀬山市展」出品：市長賞受賞。

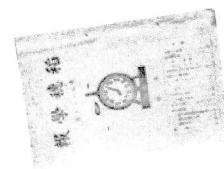
※表紙紙は、渋谷の地本坂ギャラリーにて故郷から土産として土産された人形芝居「三番置」。その時の父の表紙らしさを表現したい思いで描いたものです。

*同窓会誌を94ページに掲載



稲穂(とうすい)とは…

昭和16、18年に飯田中学で刊行されていた格調高い『稲穂學報』に因む。



題字「稲穂」 高田墨山 (高7回)